

平成26年度予算の概要

平成26年2月
門真市



<目次>

平成26年度予算編成について	1
1. 平成26年度予算の総括	2
2. 一般会計歳入予算の状況	7
3. 一般会計歳出予算の状況	12
4. 市債残高の状況	17
5. 基金残高の状況	18

平成26年度予算編成について

これまでの2期8年間の市政運営では、「財政の再建」と「市政の再生」のため、柔軟性と機動性に富んだ経営感覚を取り入れ、直ちに行財政改革に着手し、職員定数・人件費の削減をはじめとする「内なる改革」を中心に、事務事業の統合・合理化など、様々な行財政改革を推進し、約300億円を超える効果を生み出すことができたところであり、この効果を、数多くの新たな施策に、持続可能なまちづくりに投資してまいりました。経常収支比率につきましても、22年度より12年ぶりに100を下回るまでに改善し、生涯学習複合施設等の整備も見据えた、中期財政見通しを指し示せる段階に達しております。また、多額の累積赤字を抱える国民健康保険事業特別会計においても、単年度の黒字体質となり、累積赤字は約59億円から32億円へと大幅に減少し、収納率は88%を超え、府内平均を上回るまでになっております。

しかしながら、本市の財政は依然として厳しい歳入状況にあり、経常収支比率が100を下回っているものの、決して余裕がある状況とは言えません。また、国民健康保険事業特別会計の累積赤字により、連結実質赤字比率は全国的にも極めて高い水準にあり、将来への投資財源の確保を維持し、国保の累積赤字額の解消を進めるためには、引き続き、行財政改革並びに財政健全化への取組みを強力に推進していかなければならない状況であります。

このような財政状況のもと、26年度予算においては、「門真市第5次総合計画」に示す将来都市像「人・まち“元気”体感都市 門真」の実現に向けて、三本柱である「教育の向上」「まちづくり」「産業振興」に加え、「子ども」「女性」「コンパクトシティ」をキーワード施策とし、限られた財源の中で、「選択と集中」による重点的な予算配分を行いました。また、「公民協働」のより一層の推進を図るため、26年度を「地域力創造元年」と位置付け、地域会議の設立や地域予算制度の導入を意識した予算編成を実施したところであります。

3期目の本格的なスタートである26年度は、将来に渡って自ら生成し、発展する「自律発展都市」に向けたさらなる好循環を創り出すため、これまで推進してきた、「市民力」と「地域力」を高める施策をより強力に展開し、さらに進展させ、深め、浸透させていく、まさに「深化」の時期であると考えております。

市制50周年という節目を終え、将来を担う子どもたちに、「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちを引き継いでいくため、市民の皆様の「幸福度の向上」が図られるよう、私はもとより、職員も持てる能力を最大限に発揮し、今後とも一丸となって積極的に取り組んでまいる所存でありますので、市民の皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

門真市長 園部 一成

1. 平成26年度予算の総括

単位：千円

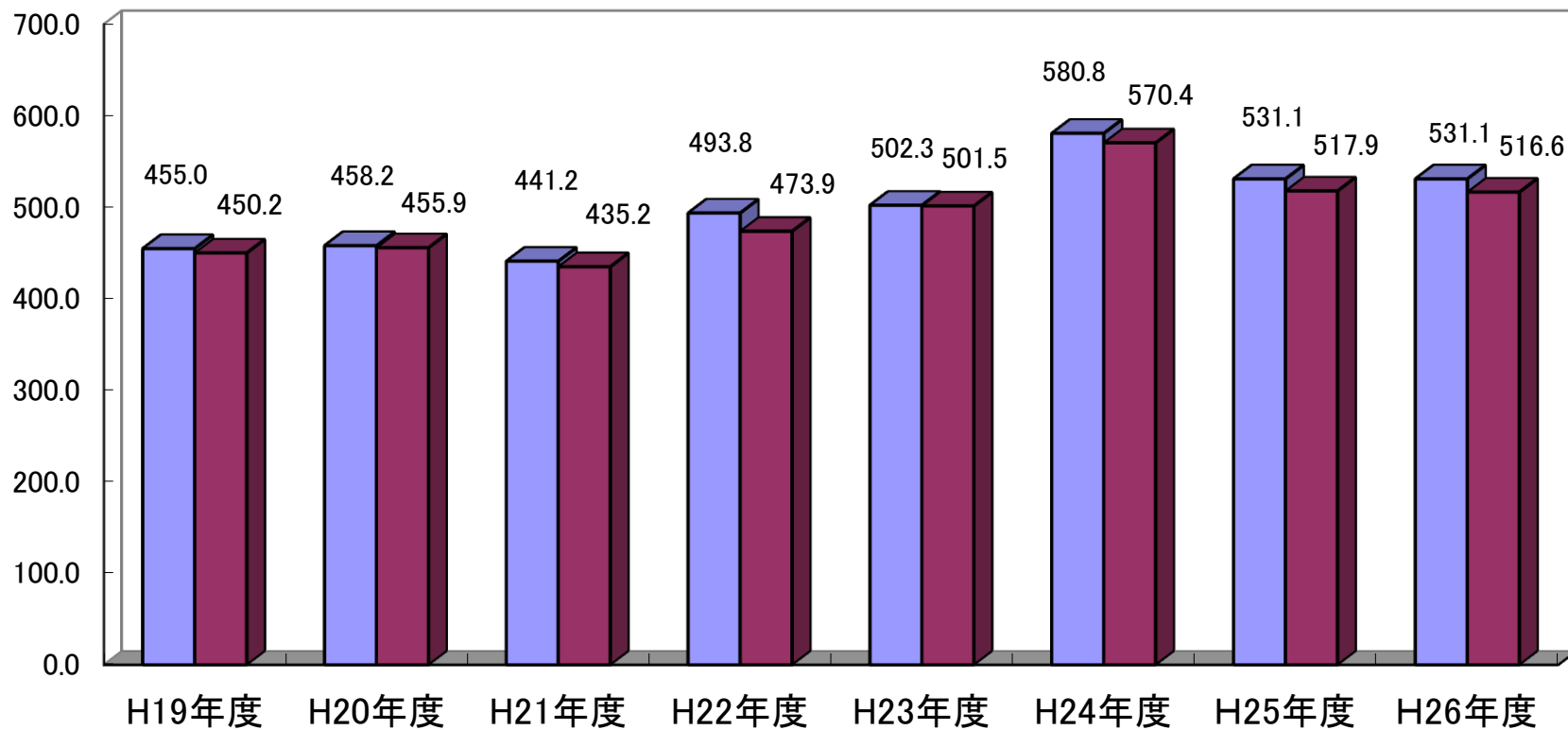
項 目		平 成 2 6 年 度 予 算 額 (A)	平 成 2 5 年 度 予 算 額 (B)	増 減 額 (C) = (A) - (B)	増 減 率 (C) / (B) %
一 般 会 計		53,110,000	53,114,000	△4,000	△0.0
※ 借 換 債 を 除 く		51,661,676	51,785,045	△123,369	△0.2
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	18,326,432	18,139,672	186,760	1.0
	公 共 下 水 道 事 業	6,883,751	6,340,285	543,466	8.6
	都 市 開 発 資 金	783	783	0	0.0
	公共用地先行取得事業	722,384	836,036	△113,652	△13.6
	後期高齢者医療事業	1,389,100	1,277,847	111,253	8.7
	小 計	27,322,450	26,594,623	727,827	2.7
水 道 事 業 会 計		4,075,895	3,381,554	694,341	20.5
全 会 計 の 合 計		84,508,345	83,090,177	1,418,168	1.7
※ 借 換 債 を 除 く		83,060,021	81,761,222	1,298,799	1.6

※一般会計には、過去に発行した市債の借り換えに伴う予算として、平成26年度に1,448,324千円、平成25年度に1,328,955千円を歳入・歳出に計上しています。

一般会計当初予算額の推移

単位：億円

借換債含 借換債除



会計別予算の特徴

(1)一般会計

主な歳入（対前年度）

○市税 177億8,846万4千円
(+1.9% 3億3,538万2千円増)

○地方消費税交付金 16億6,300万円
(+12.7% 1億8,800万円 増)

○地方交付税 66億3,000万円
(△4.8% 3億3,400万円 減)

○国庫支出金 144億9,991万6千円
(+7.0% 9億4,346万5千円増)

○諸収入 6億2,808万1千円
(△61.7% 10億1,392万1千円減)

主な歳出（対前年度）

○臨時福祉・子育て世帯臨時特例給付金給付事業 7億4,855万9千円
(皆 増 7億4,855万9千円増)

○子ども発達支援センター整備工事 4億8,158万円 減
(皆 減)

○住宅市街地総合整備事業 21億4,619万5千円
(△0.7% 1,530万5千円減)

(2)国民健康保険事業特別会計

主な歳入（対前年度）

○国民健康保険料 37億2,264万3千円
(△0.2% 660万8千円減)

○国庫支出金 46億9,053万9千円
(△1.4% 6,705万8千円減)

○療養給付費等交付金 7億2,504万4千円
(△6.8% 5,331万1千円減)

○前期高齢者交付金 41億7,333万6千円
(+5.4% 2億1,428万1千円増)

○府支出金 14億3,983万6千円
(+3.6% 4,942万6千円増)

主な歳出（対前年度）

○総務費 3億4,074万3千円
(△8.3% 3,103万4千円減)

○保険給付費 125億5,029万7千円
(+2.2% 2億6,910万7千円増)

○共同事業拠出金 20億1,273万2千円
(△2.1% 4,388万1千円減)

(3)公共下水道事業特別会計

主な歳入（対前年度）

○国庫支出金 6億8,200万円
(+51.7% 2億3,252万7千円増)

○繰入金 21億 600万円
(+7.5% 1億4,700万円 増)

○市債 27億3,224万1千円
(+6.1% 1億5,759万8千円増)

主な歳出（対前年度）

○公共下水道整備事業 17億8,376万9千円
(+20.2% 2億9,980万7千円増)

○公債費 32億6,149万4千円
(+4.6% 1億4,229万5千円増)

(4)都市開発資金特別会計

○予算総額 78万3千円
(対前年度同額)

(5)公共用地先行取得事業特別会計

○予算総額 7億2,238万4千円
(△13.6% 1億1,365万2千円減)

(6)後期高齢者医療事業特別会計

主な歳入

○後期高齢者医療保険料 9億5,984万円
(+3.9% 3,633万4千円増)

○繰入金 3億3,920万7千円
(+18.3% 5,240万8千円増)

主な歳出

○後期高齢者医療広域連合納付金 13億3,174万7千円
(+8.5% 1億 378万円 増)

(7)水道事業会計

収益的・資本的收入

(総額34億5,389万8千円 対前年度+11.6%)

○水道料金 26億8,855万7千円

(+ 0.5% 1,354万7千円増)

○長期前受金戻入 1億3,449万5千円

(皆 増 1億3,449万5千円増)

○工事負担金 2億1,325万1千円

(+195.0% 1億4,097万3千円増)

収益的・資本の支出

(総額40億7,589万5千円 対前年度+20.5%)

○(整備事業費)工事請負費

1億7,956万6千円

(+181.3% 1億1,573万4千円増)

○(排水設備改良費)工事請負費

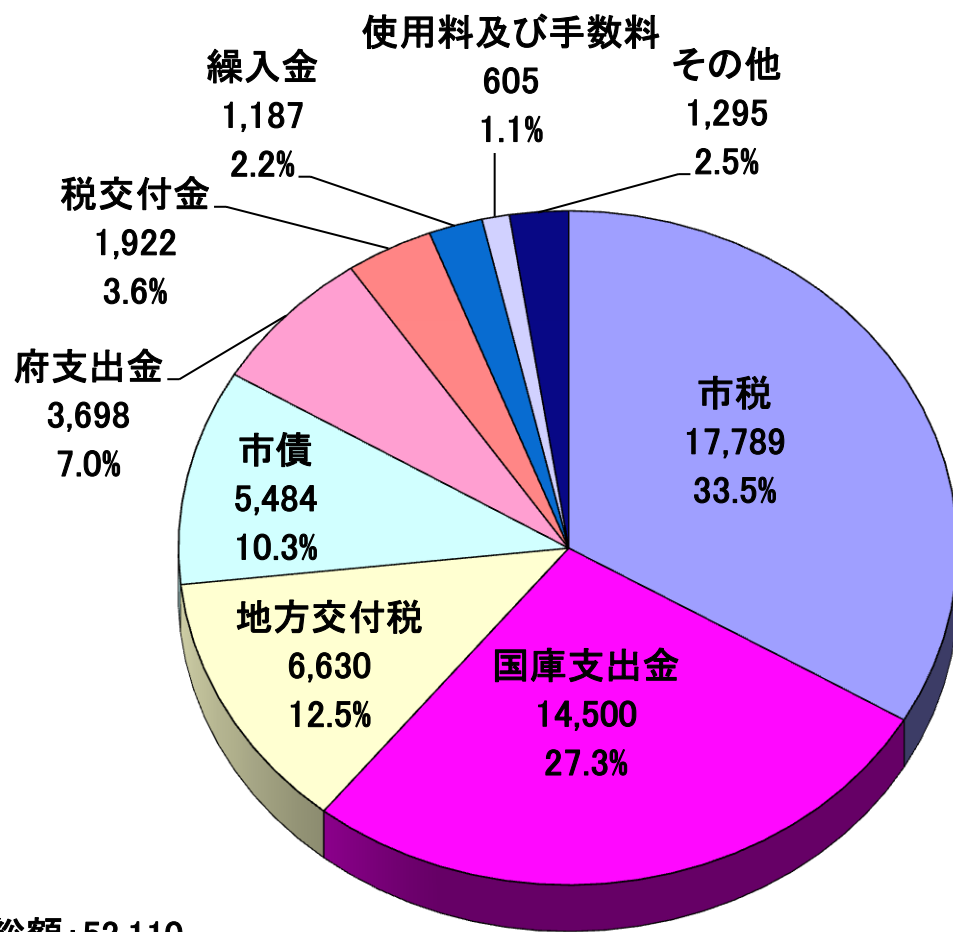
6億2,011万3千円

(+109.0% 3億2,337万5千円増)

2. 一般会計歳入予算の状況

歳入予算構成比

単位：百万円



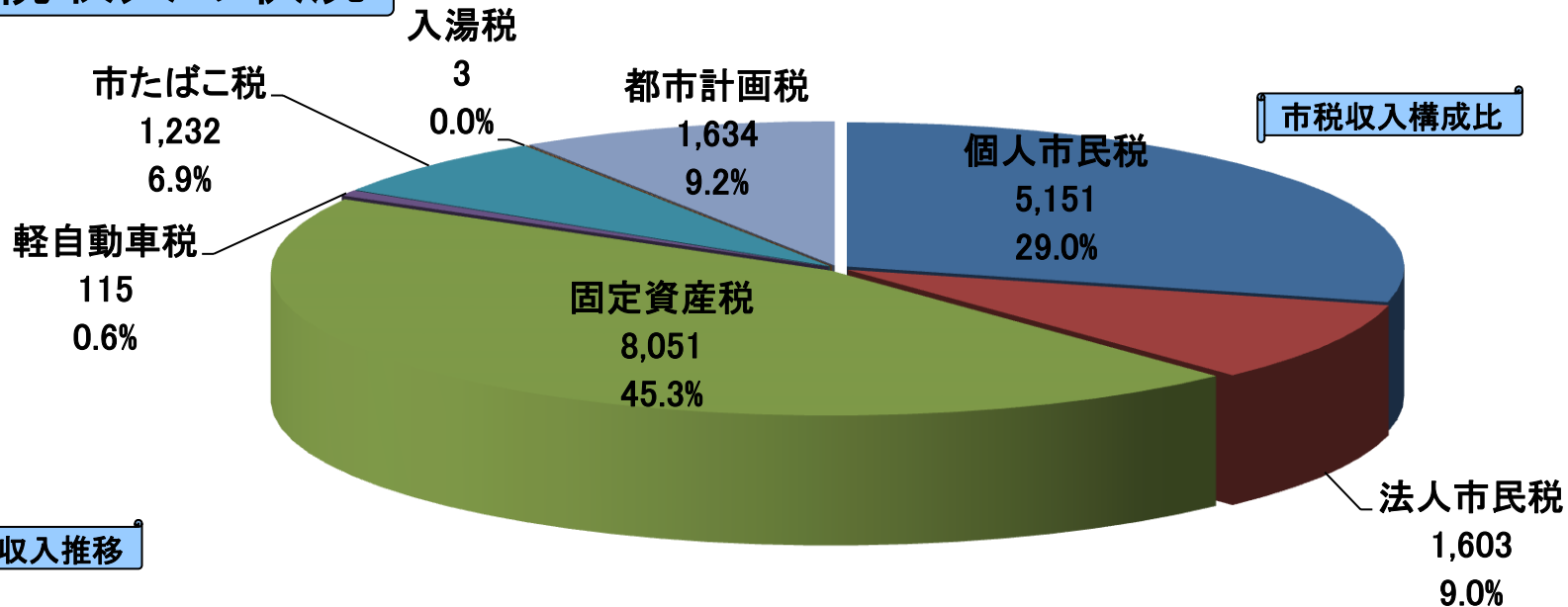
※ 1 税交付金の内訳
 利子割交付金
 配当割交付金
 株式等譲渡所得割交付金
 地方消費税交付金
 自動車取得税交付金

※ 2 その他の内訳
 地方譲与税
 地方特例交付金
 交通安全対策特別交付金
 分担金及び負担金
 財産収入
 寄附金
 諸収入

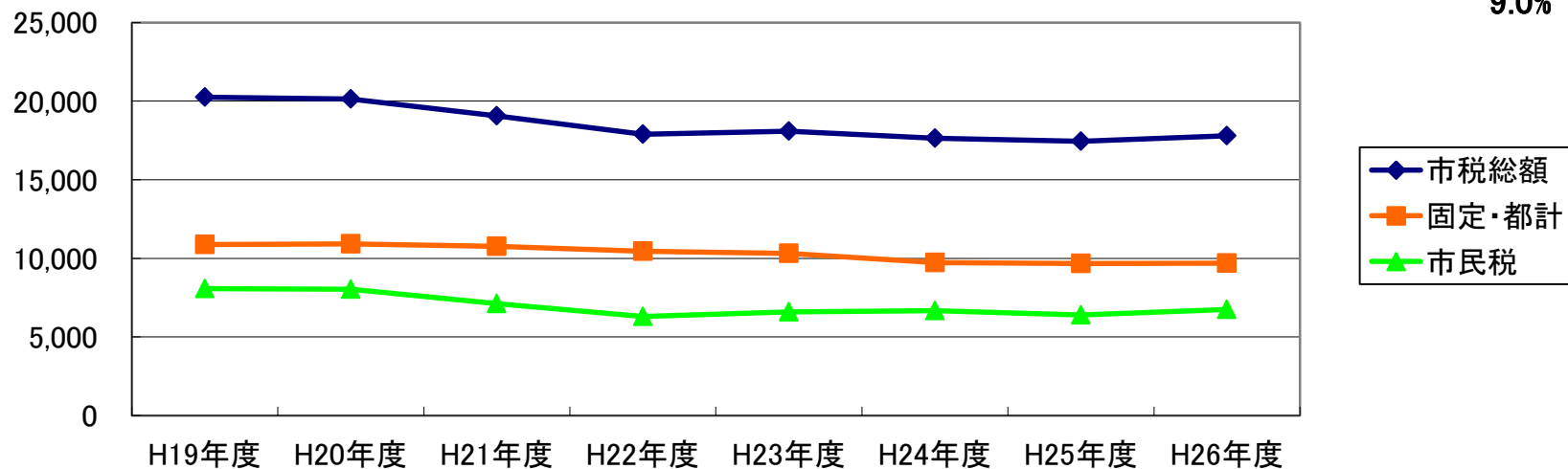
総額：53,110

市税収入の状況

単位：百万円

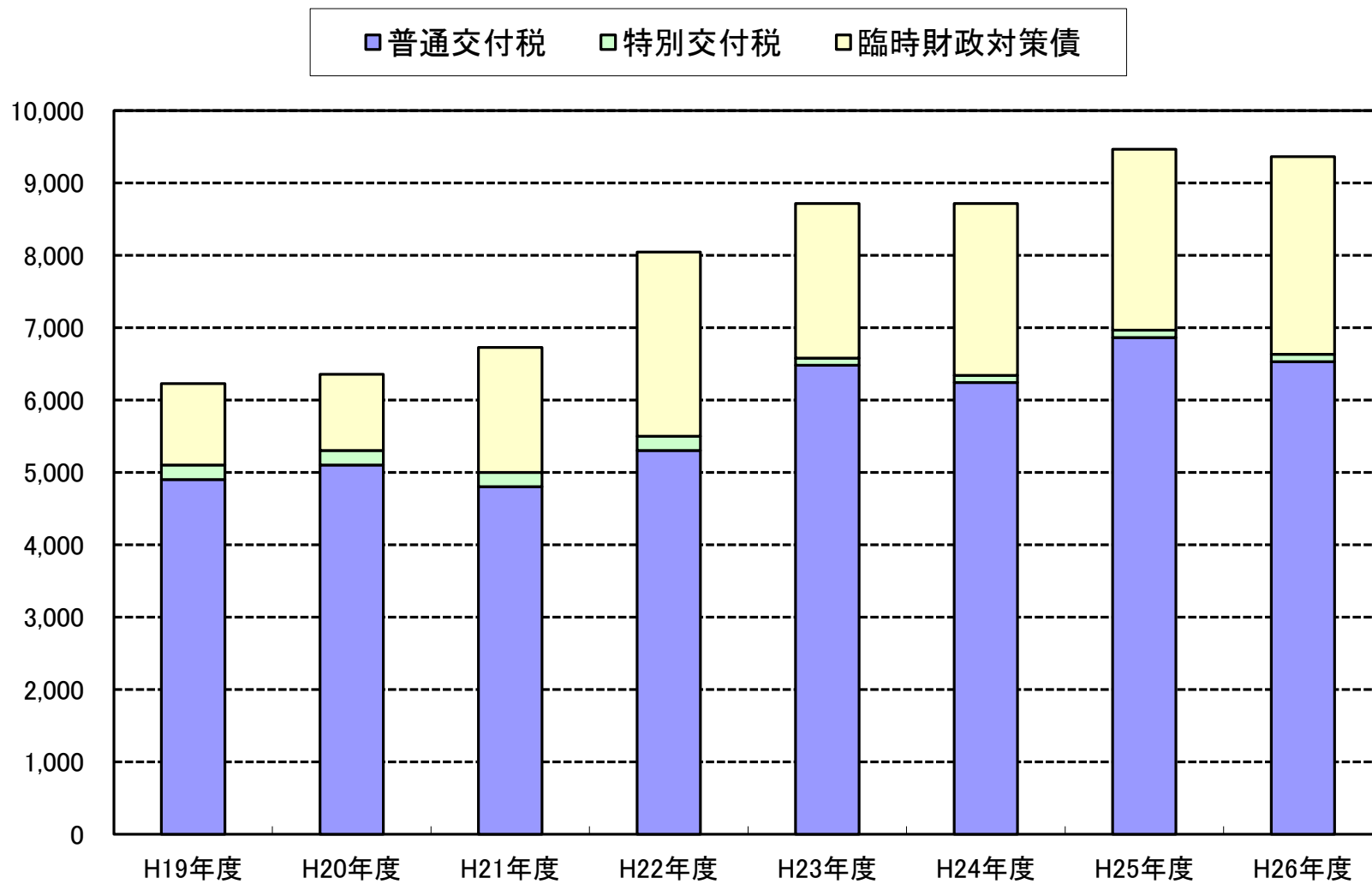


市税収入推移



地方交付税等の推移

単位：百万円



歳入予算の特徴

(1)市税

177億8,846万4千円

(対前年度+1.9% 3億3,538万2千円増)

平成20年秋のリーマンショックによる不況から緩やかに持ち直しつつあった景気は、政府の大幅な金融緩和政策による円安、株高を背景に、着実な持ち直しから、緩やかに回復しつつあるものとなっており、先行きについても各種政策の効果が発現するなかで家計所得や投資の増加傾向が続き、景気回復の動きは確かなものとなることが期待されています。

このような状況のもと、税収入については、所得課税である個人市民税は均等割増税（復興財源確保のため）のため増収、法人市民税は歳入年度区分の仕組みにより確定納付額が減少するものの、法人利益が増大するため増収となります。資産課税である固定資産税は、地価下落による減収がありますが、家屋の新增築分が増大するため増収となります。

単位：千円

項 目	H26年度	H25年度	増減額	増減率 %
個人市民税	5,150,868	4,997,670	153,198	3.1
法人市民税	1,602,782	1,405,037	197,745	14.1
固定資産税	8,051,354	8,045,514	5,840	0.1

(2)地方交付税＋臨時財政対策債

93億6,335万円

(対前年度△1.1% 1億 97万7千円減)

○地方交付税

66億3,000万円

(3億3,400万円 減)

○臨時財政対策債

27億3,335万円

(2億3,302万3千円増)

地方交付税のうち、普通交付税については、国の地方財政計画及び平成25年度交付実績等に基づいて算定しており、特別交付税については、前年同様1億円で見込んでいます。

また、臨時財政対策債についても国の地方財政計画及び平成25年度実績等に基づき予算計上をしています。

(3)国庫支出金

144億9,991万6千円

(対前年度+7.0% 9億4,346万5千円増)

○社会保障・税番号制度システム整備費補助金

7,236万円 増

○臨時福祉・子育て世帯臨時特例給付金給付事業費補助金

7億4,855万9千円増

○社会資本整備総合交付金

5,697万2千円増

(4)府支出金

36億9,785万9千円

(対前年度+9.8% 3億3,062万円 増)

○緊急雇用創出事業臨時特例基金

6,607万5千円増

○保育緊急確保事業補助金

9,734万7千円増

○住宅市街地総合整備事業費補助金

2億3,109万9千円増

○安心こども基金特別対策事業費補助金

7,894万8千円減

(5)諸収入

6億2,808万1千円

(対前年度△61.7% 10億1,392万1千円減)

○中町地区老朽建築物等買収補償費

6億7,039万1千円減

○幸福町・垣内町地区老朽建築物等買収補償費

4億4,119万7千円減

○大阪府証紙・収入印紙手数料等 4,349万2千円増

(6)市債

54億8,387万4千円

(対前年度△6.6% 3億8,600万8千円減)

○退職手当債 2億4,920万円 減

○社会福祉施設整備事業債 4億1,670万円 減

○住宅市街地総合整備事業債 1億9,490万円 減

○大阪府施設整備資金貸付金 9,110万円 減

○公共施設等除却特例債 1億8,620万円 増

○借換債 1億1,936万9千円増

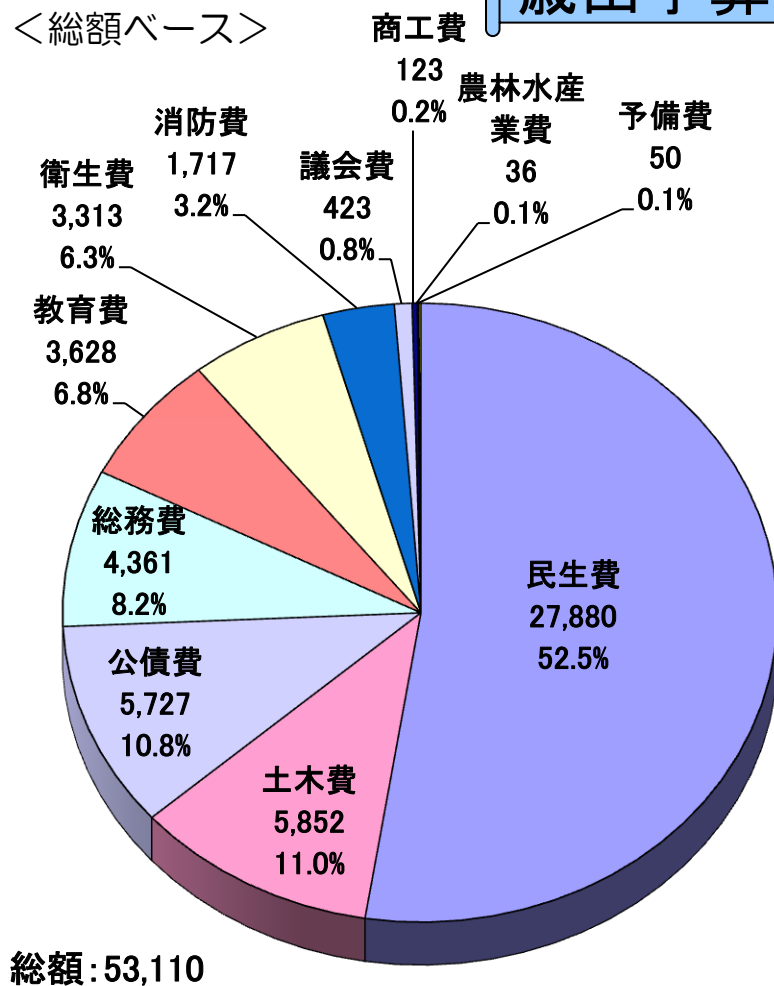
○臨時財政対策債 2億3,302万3千円増

3. 一般会計歳出予算の状況

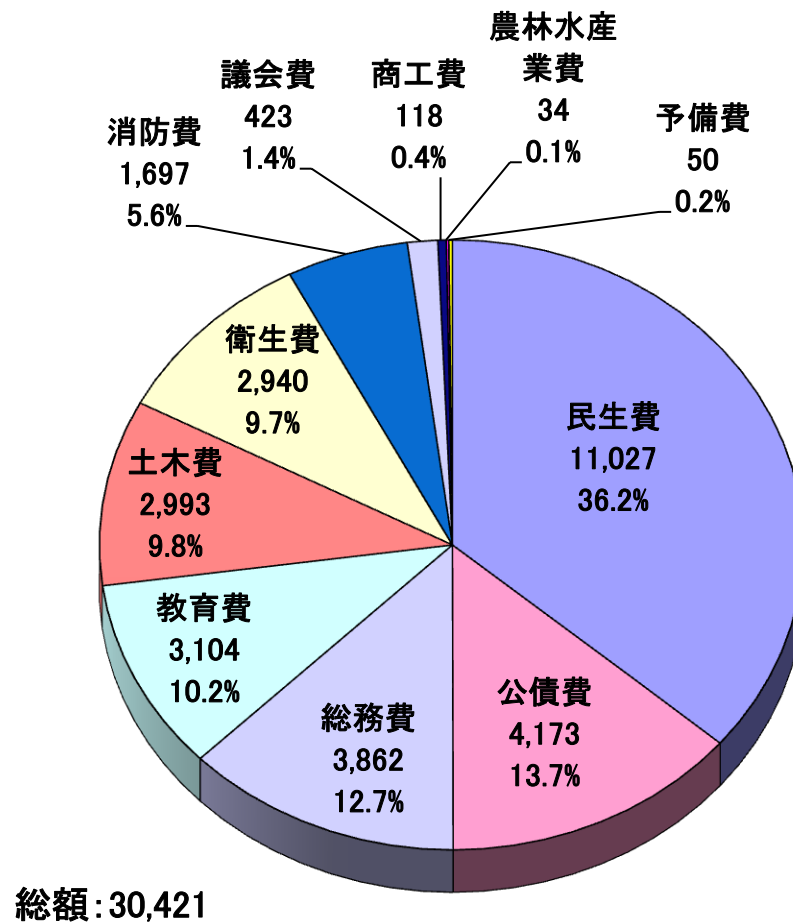
歳出予算(目的別)構成比

単位：百万円

<総額ベース>



<一般財源ベース>



歳出予算(目的別)の特徴

(1)総務費

43億6,131万5千円

(対前年度△24.1% 13億8,834万9千円減)

- 退職手当 3億8,936万4千円減
- 市役所庁舎等整備事業（仮庁舎への移転及び庁舎別館冷暖房設備更新） 3億1,589万4千円減
- まちづくり整備基金積立金 8億9,451万1千円減
- 旧養護老人ホーム撤去工事 9,232万2千円増

(2)民生費

278億7,984万7千円

(対前年度+2.7% 7億2,875万6千円増)

- 臨時福祉・子育て世帯臨時特例給付金給付事業 7億4,855万9千円増
- 旧さつき園・くすのき園撤去工事 1億 875万6千円増
- 生活保護法の規定による扶助費 1億1,701万円 増
- こども発達支援センター整備工事 4億8,158万円 減

(3)土木費

58億5,142万9千円

(対前年度+5.7% 3億1,477万6千円増)

- 橋りょう長寿命化事業 2,731万3千円増
- 桑才排水機場整備工事 6,264万円 増
- 公共下水道事業特別会計繰出金 1億4,700万円 増
- 住宅市街地総合整備事業 1,530万5千円減

(4)消防費

17億1,709万9千円

(対前年度△5.6% 1億 184万円 減)

- 守口市門真市消防組合負担金 1億1,272万9千円減

(5)教育費

36億2,769万2千円

(対前年度+3.0% 1億 459万4千円増)

- きめ細かな指導を実現する35人学級事業 7,974万8千円増
- 第五中学校下足棟新設工事 5,231万円 増
- 浜町幼稚園撤去工事 4,168万8千円増
- （仮称）市立総合体育館建設事業 5,692万3千円増
- 旧第一中学校撤去工事 8,487万8千円減
- 青少年活動センター除却工事 3,825万8千円減

(6)公債費

57億2,748万5千円

(対前年度+4.0% 2億1,838万9千円増)

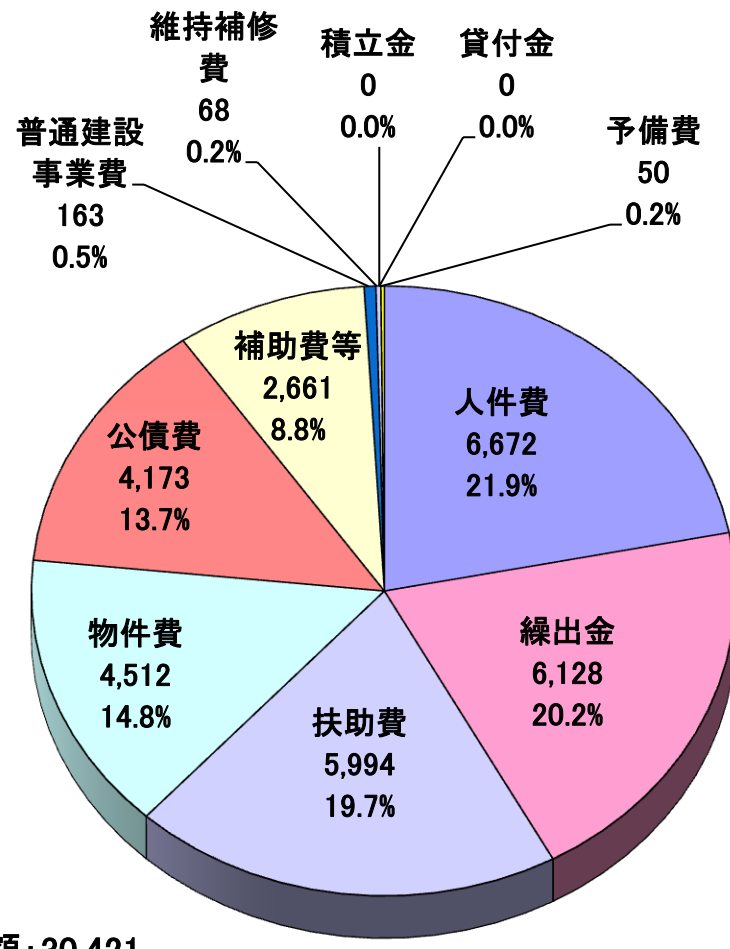
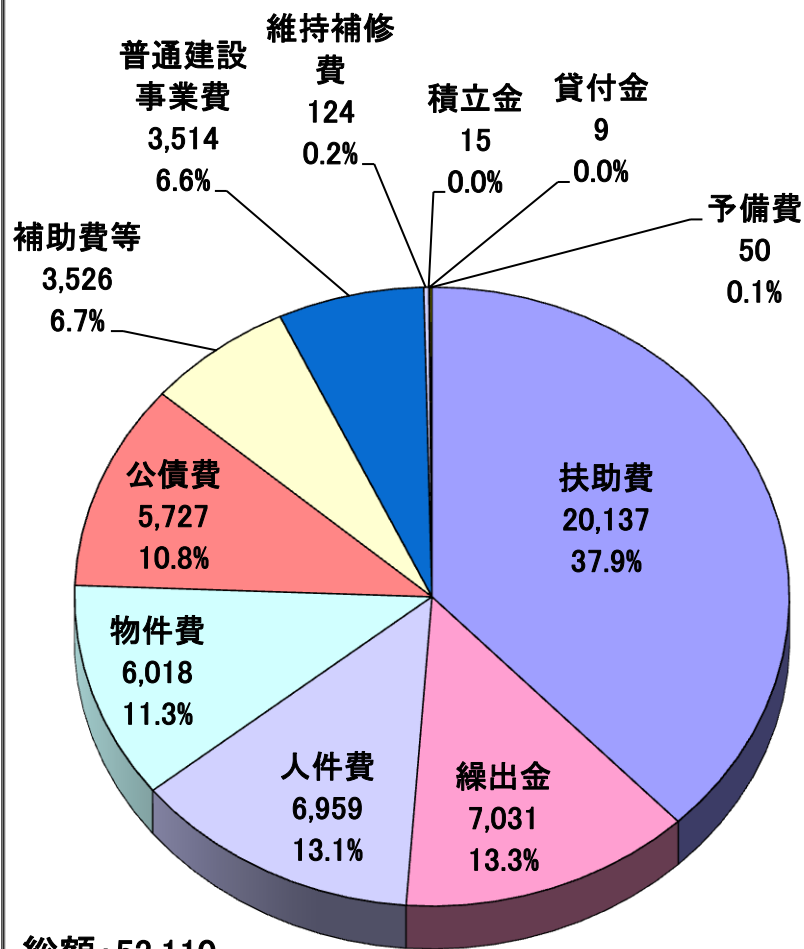
- 退職手当債（平成23年度借入分） 4,237万8千円増
- 臨時財政対策債（平成23年度借入分） 5,666万7千円増
- 臨時財政対策債（平成15年度借入分）等の借換分として 1億1,936万9千円増

歳出予算(性質別)構成比

単位：百万円

<総額ベース>

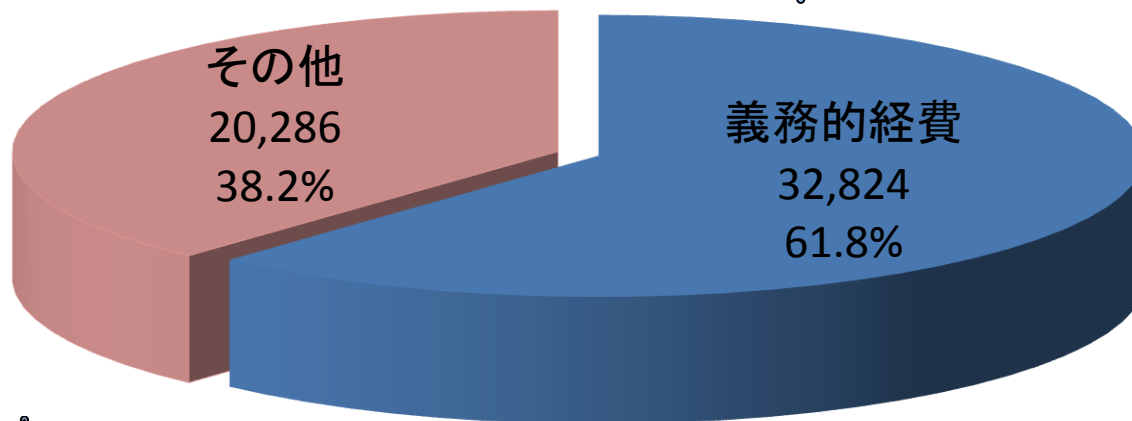
<一般財源ベース>



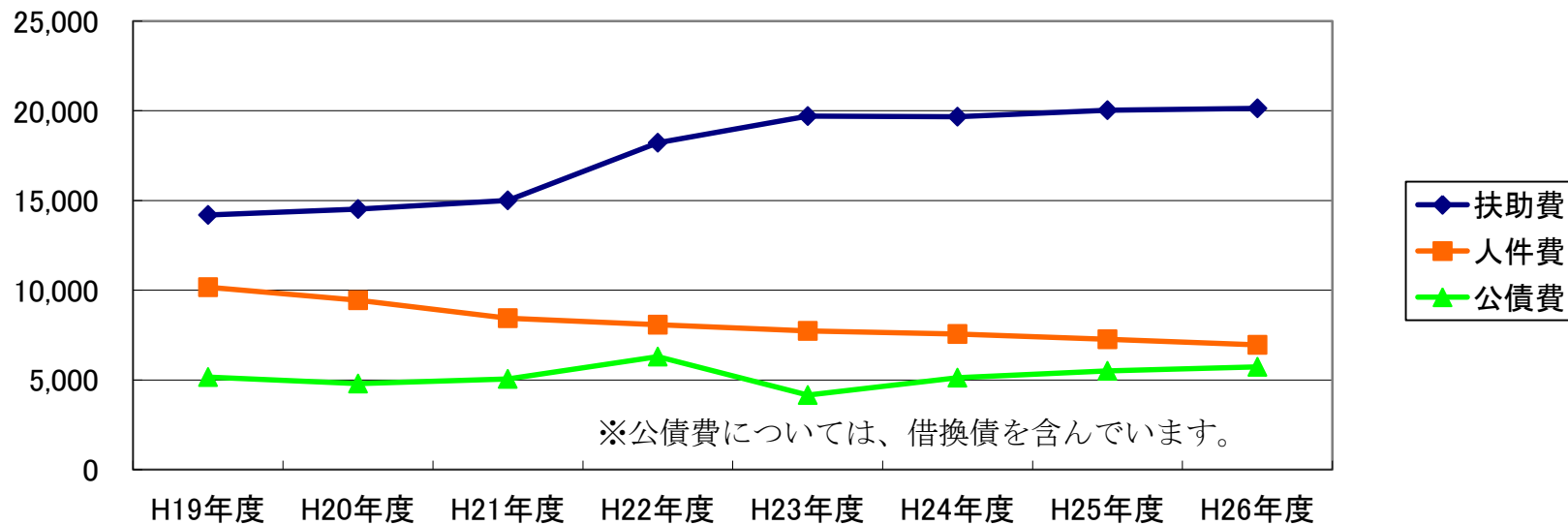
義務的経費の状況

単位：百万円

歳出総額に占める義務的経費の割合



義務的経費の推移



歳出予算(性質別)の特徴

(1)人件費

69億5,853万8千円

(対前年度△4.3% 3億 899万円 減)

○退職手当 3億8,936万4千円減

○きめ細かな指導を実現する35人学級事業
7,907万5千円増

(2)物件費

60億1,772万円

(対前年度+8.7% 4億8,362万円 増)

○住民情報システム等新規・修正委託料
1億4,828万8千円増

○旅券発給事務 4,621万5千円増

○臨時福祉・子育て世帯臨時特例給付金給付事業
(交付金除く) 1億 90万9千円増

○生活保護システム委託料 3,272万円 増

○清掃施設維持管理等業務委託料 6,842万3千円増

○道路ストック総点検業務委託料 3,403万5千円増

(3)扶助費

201億3,747万7千円

(対前年度+0.5% 1億1,009万9千円増)

○生活保護法の規定による扶助費
1億1,701万円 増

※扶助費(生活保護費など)は、実質的に約75%が国庫支出金などの特定財源で、残りの約25%については交付税で措置されます。

(4)補助費等

35億2,554万5千円

(対前年度+21.1% 6億1,309万4千円増)

○臨時福祉・子育て世帯臨時特例給付金給付事業
(交付金) 6億4,765万円 増

○守口市門真市消防組合負担金 1億1,272万9千円減

(5)普通建設事業費

35億1,424万3千円

(対前年度△11.1% 4億3,945万2千円減)

○市役所庁舎等整備事業(旧庁舎本館撤去工事)
2億7,940万円 減

○こども発達支援センター整備工事
4億8,158万円 減

○住宅市街地総合整備事業 1,530万5千円減

○旧さつき園・くすのき園撤去工事
1億 875万6千円増

(6)公債費

57億2,748万5千円

(対前年度+4.0% 2億1,838万9千円増)

○退職手当債(平成23年度借入分)
4,237万8千円増

○臨時財政対策債(平成23年度借入分)
5,666万7千円増

○臨時財政対策債(平成15年度借入分)等の借換分
として 1億1,936万9千円増

4. 市債残高の状況

一般会計・公共用地先行取得事業特別会計

単位：百万円

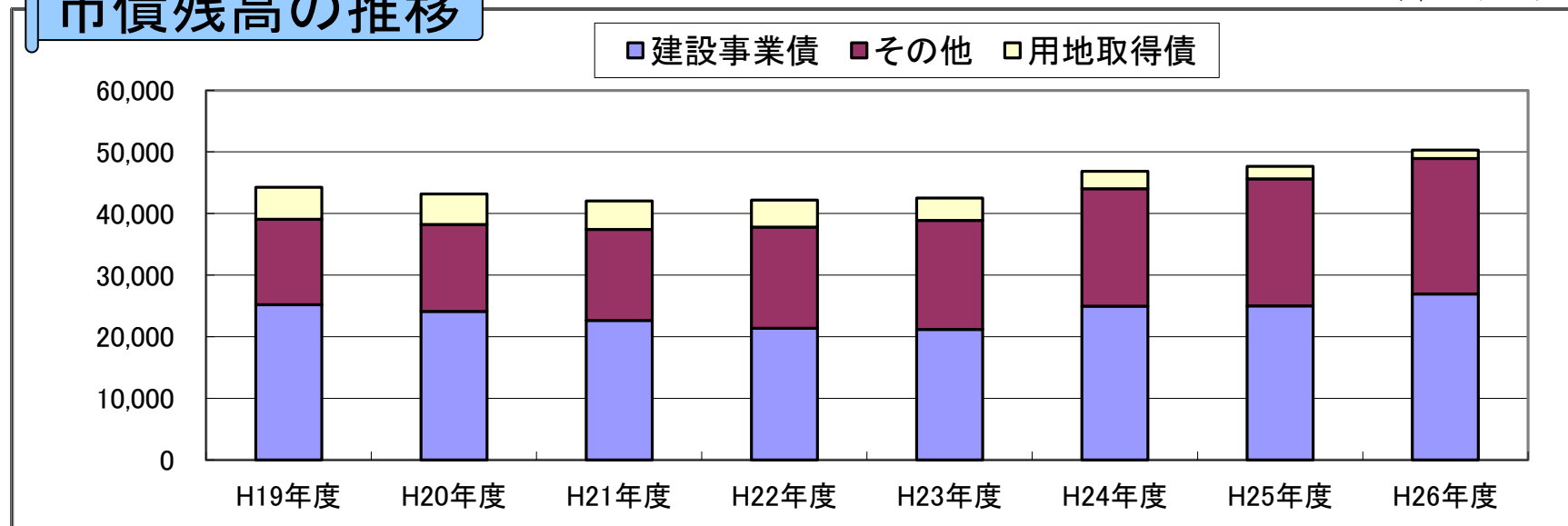
項 目	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
建設事業債	25,195	24,117	22,637	21,388	21,153	24,973	25,017	26,945
その他	13,861	14,083	14,798	16,421	17,734	19,062	20,605	21,999
用地取得債	5,204	4,954	4,591	4,356	3,618	2,844	2,042	1,344
合 計	44,260	43,154	42,026	42,165	42,505	46,879	47,664	50,288

※その他（国の政策によるもの）・・・減税補てん債、臨時税収補てん債、臨時財政対策債

※H19年度～H24年度は決算額、H25年度・H26年度は見込額

市債残高の推移

単位：百万円



5. 基金残高の状況

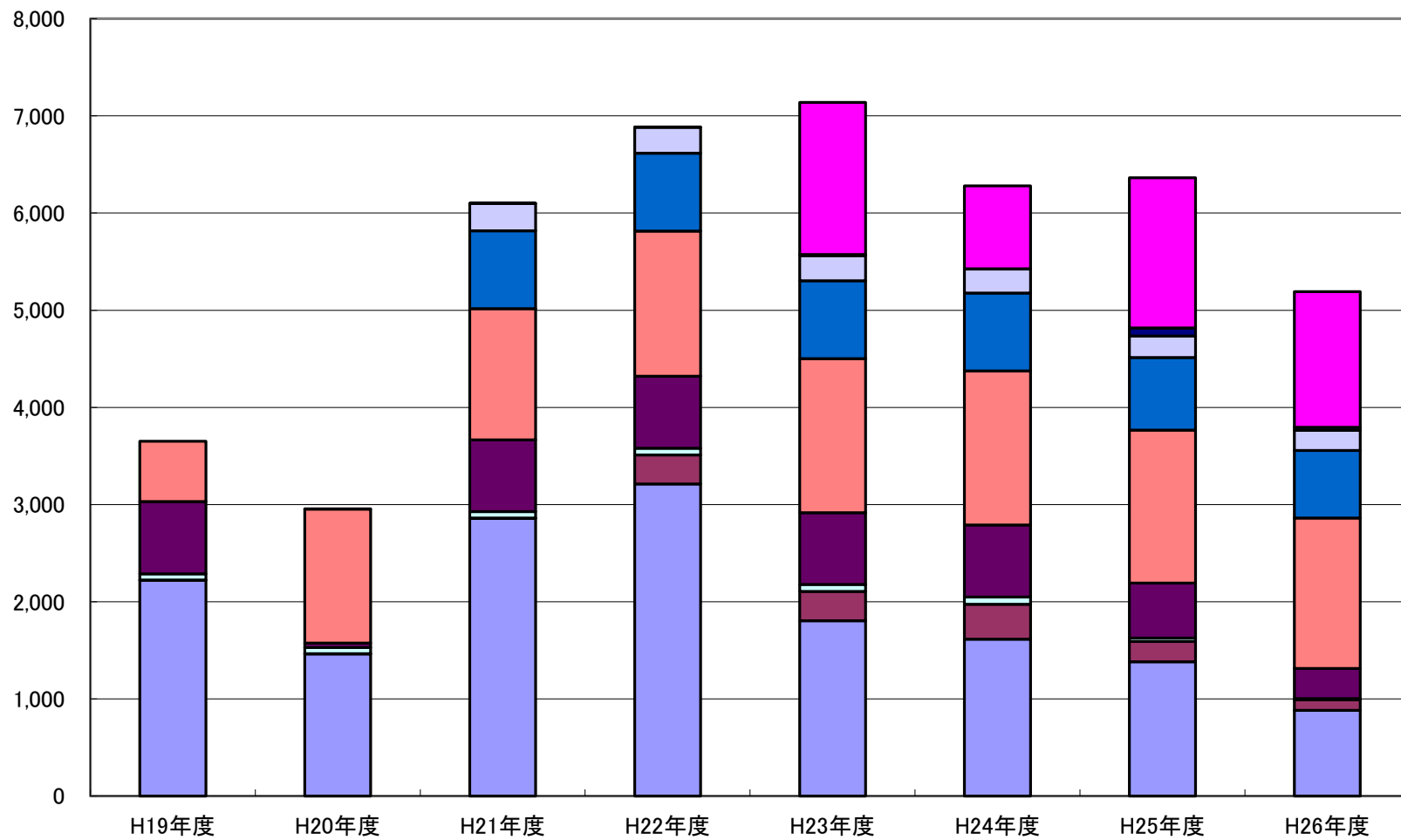
単位：千円

項 目 (設置年月日)	H24年度末	H25年度 積立見込額	H25年度 取崩見込額	H25年度末 (見 込)	H26年度 積立見込額	H26年度 取崩見込額	H26年度末 (見 込)
財 政 調 整 基 金 (S 5 4 . 3 . 2 6)	1,614,010	127,265	360,000	1,381,275	—	500,000	881,275
減 債 基 金 (H 3 . 3 . 2 7)	360,746	—	150,000	210,746	—	100,000	110,746
職員退職手当基金 (H 8 . 3 . 2 9)	55	—	—	55	—	—	55
福 祉 推 進 基 金 (H 1 5 . 3 . 3 1)	73,165	—	39,179	33,986	—	24,288	9,698
都 市 整 備 基 金 (H 1 5 . 3 . 3 1)	741,422	—	175,250	566,172	—	254,643	311,529
市営住宅建設基金 (S 5 4 . 3 . 2 6)	1,585,440	—	12,605	1,572,835	—	26,622	1,546,213
文化芸術振興基金 (H 2 1 . 3 . 3 1)	802,598	—	54,392	748,206	—	52,381	695,825
環 境 保 全 基 金 (H 2 1 . 3 . 3 1)	246,193	—	24,553	221,640	—	15,357	206,283
教 育 振 興 基 金 (H 2 1 . 3 . 3 1)	4,220	80,000	—	84,220	—	50,446	33,774
まちづくり整備基金 (H 2 3 . 9 . 2 9)	853,579	872,355	182,818	1,543,116	14,752	163,670	1,394,198
合 計	6,281,428	1,079,620	998,797	6,362,251	14,752	1,187,407	5,189,596

基金残高の推移

単位：百万円

■ 財政調整
■ 減債
□ 職員退職
□ 福祉推進
■ 都市整備
■ 市営住宅
■ 文化芸術
□ 環境保全
■ 教育振興
■ まちづくり



平成26年度予算の概要

作成：総合政策部財政課

電話：06-6902-5869（直通）

